

(財) 日本ユニセフ協会 国際協力人材養成プログラム

**海外インターンのユニセフ現地事務所派遣事業
2010 年度募集要項**

(財)日本ユニセフ協会は、国際協力人材養成プログラムの一環として、国際協力・社会開発・子どもの人権などに関する研究を行っている主に大学院生をユニセフ現地事務所に派遣する、海外インターンを募集します。同事業は、ユニセフのインターンシッププログラムに沿って、日本ユニセフ協会が実施する事業です。

1. 目的

国際協力に関わる研究を行っている、主として大学院生に、ユニセフ現地事務所での子どものための調査・研究・援助等の実務実習の機会を提供することにより、特に子どもの分野を中心に日本人の顔の見える国際協力を担う若手の人材を養成し、開発途上国での子どもの基本的人権の実現に寄与するものです。

2. 応募資格

- (1) 日本国籍を有し、応募時に国際協力・社会開発・人権等の分野において子どもの福祉に関わる研究をする修士課程または博士課程の大学院在籍者。インターン開始時に修士、博士課程を修了していないことが条件となります。(※論文提出後、学位取得までの期間は可能とします。) 35歳未満の方を優先します。
- (2) ユニセフの業務言語(今回は英語)に堪能であること。TOEIC 900 点以上、IELTS7.0 以上、TOEFL iBT100 点/ PBT600 点以上のいずれかが必要となります。

3. 派遣人数

2010 年度の応募者より、6～8 人を派遣いたします。

4. 受入機関

受入機関は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアおよびアフリカ諸国のユニセフ現地事務所を予定しています。

- ・以上の国と地域は予定であり確定ではありません。
- ・受け入れ事務所は原則として、首都にあるユニセフカントリーオフィスですが、本人の専攻分野によってはサブオフィスとなる場合もあります。
- ・配属を希望する国と赴任する国が異なる場合が十分有り得ることをご了解ください。第2次選考終了後、受け入れるユニセフ現地事務所との調整を行います。

5. 実習内容

具体的な実習内容は本人の専攻分野・経験と受入れるユニセフ現地事務所の行っている業務により、赴任前に具体的に定めます。基本的には専攻分野に関連するプロジェクトに配属され、特定のスタッフ、或いはグループの指導の下に、プロジェクトの計画、実施、評価等の作業に加わります。また、日常の業務処理が補助的に加味されます。なお、実習に必要なスペースや消耗品などは、受け入れるユニセフ事務所より提供されます。

6. 実習期間・時期

期間はユニセフのインターンシップに基づき、最低 10 週間、最大 16 週間とします。時期は原則として 2011 年 4 月から 12 月までの期間とします。インターン本人の希望期間と配属先の受入れ可能期間とを、日本ユニセフ協会が調整し確定しますが、必ずしも希望どおりにならない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

7. 応募方法

(1) 応募書類

- a) 2010 年度海外インターン派遣事業申込書（証明写真添付） 1 通
- b) UNICEF Internship Programme Application Form(英文) 1 通
- c) P-11 (英文) 1 通
- d) 大学院又は研究機関の在学・所属証明書(英文) 1 通
- e) 大学院の最新の成績証明書(英文) 1 通
 - * 但し応募時に大学院の成績証明書が提出できない場合は、それに代わるものとして学部/学部の成績証明書 (英文) 1 通
- f) 推薦状(英文) 2 通 *内 1 通は大学院または研究機関の指導教官から
- g) インターン志望動機(英・和文) 各 1 通 *各 A4 用紙 1 枚程度。字数の指定は特になし。
- h) 英語能力を証明する書類 (TOEFL、TOEIC あるいは IELTS の成績のコピー) 1 通
 - * 2 年以内のものが望ましいが、それ以前のものでも可。

(2) 応募書類送付先

2010 年度の募集期間は、2010 年 7 月 1 日(木)～10 月 15 日(金)午後 5 時 (協会必着)です。下記の窓口まで、応募書類一式を郵送にて送付ください。なお、提出書類は返却いたしませんのでご了承ください。

〒108-8607 東京都港区高輪 4-6-1 2 ユニセフハウス
(財)日本ユニセフ協会 団体・組織事業部 海外インターン担当

8. 選考方法

第 1 次選考(書類審査) 11 月初旬頃

応募者全員に、郵送または E-mail にて第 1 次選考の結果をお知らせします。

↓

第 2 次選考(面接) 12 月中旬

第 1 次選考合格者を対象に、英語のみによる面接を行います。面接会場は東京都港区のユニセフハウスです(過去にニューヨークおよびジュネーブでも実施したことがありますが、今年も行われるという保証はありませんので、ご了承ください)。

具体的面接日時は、第 1 次選考合格者に後日郵送または E-mail にて連絡いたします。なお、面接選考にかかる交通費、宿泊費は支給しませんので、ご了解ください。

↓

決定 1 2 月下旬

第 2 次選考受験者に、郵送または E-mail にて結果をお知らせします。

*やむを得ない業務上の都合により、スケジュールがずれ込むことがございます。恐れ入りますが、あらかじめご了承ください。

9. 待遇および日本ユニセフ協会による経費負担

日本ユニセフ協会は派遣を決定した海外インターン生に次の経費を支給します。

(1) 任地往復の直行の航空運賃

成田空港などの日本の空港から任地までの航空券の一定額を日本ユニセフ協会が支給し、インターン本人が手配します。成田空港等への交通費、および任地の空港からユニセフ現地事務所（カントリーオフィス或はサブオフィス）等への交通費、ならびに任地赴任まで途中で宿泊を必要とする場合の宿泊費は、本人負担とします。

(2) 現地生活費及び住居費の補助

日本ユニセフ協会が定めた国別の現地生活費及び住居費の補助額を、16週間を限度として支給します。住居の手配は、インターン本人がユニセフ現地事務所の助言を受けて行います。

(3) 海外旅行傷害保険の保険料

海外インターン生は日本ユニセフ協会が保険料を負担する海外旅行傷害保険(傷害、疾病)に加入していただきます。携行品保険や救援者費用は含まれておりませんので、必要な場合はご自分で別の傷害保険に加入していただくことになります。

10. 旅券・査証

渡航に必要な旅券、査証は本人の費用により、本人が手配を行います。日本ユニセフ協会は、必要に応じて査証取得のための推薦書を発行します。

11. 事前オリエンテーション

海外インターン決定者は、任地に赴任する前に、日本ユニセフ協会において、1日程度の事前オリエンテーションに参加していただきます。日程はインターン本人と相談の上決定します。事前オリエンテーションに参加するための国内交通費、および宿泊が必要な場合は、日本ユニセフ協会の規定により費用を支給します。

12. 誓約書の提出

海外インターン決定者は赴任前に、実習日、実習期間、守秘義務、資料の帰属、保険の加入、報告書の提出、実習の中止などについて定めた誓約書を、日本ユニセフ協会に提出していただきます。

13. 実習時間・休日

実習日及び実習時間は、配属する国のユニセフ現地事務所が定めた通りとします。

14. 報告書及び報告

実習終了後、ユニセフ現地事務所の書式に基づいたインターン実習報告書を、期限までに指導担当者に提出していただきます。日本ユニセフ協会にも、英文或は和文での実習報告書を提出していただきます。また、帰国してからなるべく早い時期に、日本ユニセフ協会に直接口頭で報告をしていただきます。その際の交通費、宿泊費等は各自負担とします。

以上

海外インターンのユニセフ現地事務所派遣事業 これまでの派遣実績

■ 2009年度募集・派遣実績

合格者数：6名（応募者数34名、合格8名、辞退2名）

所 属：大学院（海外4名[英・仏]、国内3名）

専 攻：教育学、国際関係学、開発学、公共政策、土木建築工学（農村水資源学）

派遣先（2010年6月現在）：下記のユニセフ現地事務所（カントリーオフィス、サブオフィス）

派遣準備中：グルジア、東ティモール、ネパール、フィリピン

■ 2008年度募集・派遣実績

合格者数：7名（応募者数19名）

所 属：大学院（海外6名[米・英・オランダ]、国内1名）

専 攻：開発学、教育学、教育開発、公衆衛生、水環境政策、国際協力、人権

派遣先：下記のユニセフ現地事務所（カントリーオフィス、サブオフィス）

ラオス、ナミビア、タンザニア、リベリア、インド、フィリピン、ケニア

■ 2007年度募集・派遣実績

合格者数：8名（応募者数26名）

所 属：大学院（海外5名[米・英]、国内3名）

専 攻：異文化関係学、開発学、教育開発、教育学、公衆衛生、国際保健、人権

派遣先：下記のユニセフ現地事務所（カントリーオフィス、サブオフィス）

バングラデシュ、インド、フィリピン、ウガンダ、エチオピア、ガーナ、シエラレオネ、南アフリカ

■ 2006年度募集・派遣実績

派遣者数：8名（応募者数33名、合格10名、辞退2名）

所 属：大学院（海外5名[米・英]、国内3名）

専 攻：栄養、開発、公衆衛生、国際関係、ジェンダー、人類学

派遣先：下記のユニセフ現地事務所（カントリーオフィス、サブオフィス）

インド、カンボジア、フィリピン、ネパール、バングラデシュ、イエメン、ケニア、南アフリカ

■ 2005年度募集・派遣実績

派遣者数：7名（応募者数49名、合格8名、辞退1名）

所 属：大学院（海外4名[米・英]、国内4名）

専 攻：国際関係、開発、教育、法学、公衆衛生

派遣先：下記のユニセフ現地事務所（カントリーオフィス、サブオフィス）

インド、インドネシア、カンボジア、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、東チモール

■ 2004年度募集・派遣実績

派遣者数：8名（応募者数39名）

所 属：大学院（海外2名[英]、国内6名）

専 攻：国際関係、教育学、国際開発

派遣先：下記のユニセフ現地事務所（カントリーオフィス、サブオフィス）

ブータン、ベトナム、パキスタン、ネパール、スリランカ、タイ、インド、中国

■ 2003年度募集・派遣実績

派遣者数：4名（応募者数 54名）

所 属：大学院（海外 2名（米・カナダ）、国内 2名）

専 攻：国際関係、教育、開発、戦後復興

派遣先：下記のユニセフ現地事務所（カントリーオフィス、サブオフィス）
ブータン、カンボジア、コルカタ、バングラデシュ

■ 2002年度募集・派遣実績

派遣者数：8名（応募者数 38名）

所 属：大学院（海外：5名（英）、国内 3名）

専 攻：国際関係、国際法、人権研究、ジェンダーと開発、アジア開発経済

派遣先：下記のユニセフ現地事務所（カントリーオフィス、サブオフィス）
及びユニセフ国際子ども開発センター（イタリア）
インド、カンボジア、ラオス、ブータン、イタリア、モンゴル、ベトナム、ミャンマー

日本ユニセフ協会 海外インターンプログラム問合せ先

財団法人日本ユニセフ協会 団体・組織事業部

海外インターン担当

〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス

電話 03-5789-2012 Fax 03-5789-2032

E-mail seminar-dr@unicef.or.jp